

だいわ
株式会社高度な複合成形技術で
市場を獲得海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

金属と樹脂を組み合わせた複合成型は得意分野（写真は自動車用ベアリングプーリ）

業務
内容

自動車分野を軸に成長

熱可塑性、熱硬化性プラスチックを用い、自動車や医療機器、光学機器、電子機器などあらゆる分野へさまざまな部品を供給する。売上高の分野別構成比は62%が自動車。昭和50年代後半から本格的に取り組み始めたこの分野の成長が、事業基盤を固めてきた。寸法精度と生産工程保証が求められる重要保安部品は得意とする領域で、自動車エンジン補機用プーリは国内すべてのメーカーに納入実績がある。近年は環境負荷低減の取り組みとして竹含有プラスチックや紙成形などの技術開発にも取り組む。アジア全域を市場としてにらみ、平成7年にベトナム・ホーチミン、平成9年にはハノイへ進出を果たした。

強み

樹脂成形をトータル
コーディネート

樹脂部品の設計段階から顧客の中に入って材料や形状について意見を述べ、金型設計から成形方法まで総合的にコーディネートする。加工面では金属材料などとの複合部品が技術力の見せ所。自動車用プーリでは樹脂の金型内への流し込みが重要で、このバランスが崩れると樹脂がベアリング部に流れ込むほか、密着性が弱まって不良になってしまいます。これを「ゲート方式」と呼ぶ独自の流し込み方法を採用した金型で要求通りに作り上げる。さらに熱や超音波、振動による樹脂溶着や各種印刷、アッセンブリーにも対応する体制を整えている。営業部隊を含め、どんな困難な依頼もまずは検討。あら

人材
育成確実なレベルアップで
次の世代に

ゆるネットワークを駆使して解決に挑む姿勢に顧客の信頼も厚い。

団塊の世代が少なくなる中、若手の育成は重要な課題。かつては顧客と向き合っていたら、ものづくりの心構えも鍛えられたが、昨今は社会的にこうした余裕がなくなった。座学の教育とOJTを基本に取り組み、特に現場で経験を積ませながら、技術を習得させている。社内では確実なレベルアップを図り、25年後の100周年は次の世代が担っていく会社になりたいとしている。

今後の
展望
総合力を高めて
新市場を開拓

「人材育成」と「技能伝承」、そして「技術向上」―、日本で勝ち残るための総合力アップに力を入れる。新技術の研究・導入も進め、開発・提案型企業として存在感を高める考え。主力の宮崎工場は品質と生産性を一層向上し、モデル工場としてその体制をベトナム工場に反映する。ベトナム工場では独自の金型製作も始め、コストダウンの取り組みも進む。今後は工場での管理能力を高めるための人材教育も本格化する方針。一方、金属部品から樹脂部品への置き換えが進む中、自動車分野で培った高い実績を謳って新たな顧客獲得も目指す。医療機器など「安全」が求められる分野がターゲットだ。



充実した設備が高度な製品を生み出す

COMPANY PROFILE

大和合成株式会社

大阪
26

ISO 9001

当社の
歴史

昭和14年に「奥野製作所」として創業し、平成26年に75周年を迎えました。創業当初はフェノール樹脂の製造から最終完成品まで一貫生産で様々な部品を手がけ、この加工技術が現在にも継承されています。安全ブレーカー部品の生産により事業が拡大した昭和31年、社名を「大和合成樹脂工業」へと変更。平成元年、創業50周年を機に現在の「大和合成」へと社名を変え、グローバルに展開しています。

プラスチック成形を始め75年となる弊社では、培った技術力を基にあらゆる分野へ成形品を提供しています。

代表取締役社長 奥野 健太郎さん



■主な事業内容
プラスチック部品の製造・販売

■主な取引先（納入先）
自動車部品メーカー、
重電機器部品メーカー、
電気電子部品メーカー、
制御機器部品メーカー

住 所／〒591-8046
堺市北区
東三国ヶ丘町
5-1-10

T E L／072-252-1023
F A X／072-253-7332
創 業／昭和14年11月
設 立／昭和18年1月
資本金／2,400万円
従業員／25名

<http://www.daiwa-pls.co.jp/>